

この会社にきた理由がわかった

1000日間

株式会社 苦食

企業で活躍する若手社員の紹介

社員採用側と就職活動側、お互いのゴールは「入社」ではなく、「定着」から活躍であることは周知であると思う。せつかく人材のマッチングが行われ入社に至っても、定着までにかかる日数が業界それぞれに存在する。

『定着までの心理と時間の谷』その多くは1000日に現れることが多いと言われている。「谷を越えて来た」9人のインタビューから、それぞれの背中を押したポイントを探ってみたい。

定着成功、3つのポイント

- ・会社から仕事の役割を渡していくスピード
- ・先輩たちの適切な関与
- ・会社から定着や教育への体制強化の見える化



前職は20年食品製造の会社で働いていました。

地元もから通える場所にある会社で、食品製造全般のお仕事としていました。就職した会社もパートで前職のところだけでしたし、仕事内容や待遇というものは他の会社との比較もなく続けていたという感じでした。

自分の性格は「負けず嫌い・凝り性」です。カラオケが好き過ぎて、札幌までボイストレーニング教室に通っていたくらいですから。

でも前職では、職域や職責が割と狭かったせいとか、この性格は活かされていなかったように感じます。

兄弟たちも一人立ち手前、私も一歩前に。

そんな時です。兄弟姉妹が次々に隣町の苫小牧への就職が決まり、地元を離れるというのです。

勤続20年で退職金という制度もあり、私の転職気運はさらに後押しされました。

実際初めての就職活動、苦戦も覚悟の上でしたが、「正社員」・「退職金」などの前職の経験から、この二つは就職条件としました。タイミング良く、すぐに苦食で内定をいただくことができました。

株式会社 苦食

入社約3年

齊藤 沙織さん



環境(職責)が変わる。仕事の価値観が変わった。

苦食で働き出してすぐに感じたのは、自分の仕事の幅を自分で決めてしまわずにチャレンジする人が多いことでした。わからないことや未経験の事に出くわしても、「どれどれ、みせてみせて」なのです。

仕事のできる人に仕事は偏ることを見るのが不満でもあった私には、青天の霹靂でした。

この職場に私ができることを還元したいの思いは、仕事をしていて初めて持った感情かもしれません。

もしかしたら、正社員だからの責任

食品製造から、出荷管理・受注管理など、思っていたより短期間で仕事私の元へやってきました。

おそらく前職20年の経歴のおかげでしようか。しかしながら、実はほぼ初めての業務で必死で取り組みました。

役に立つのならばと資格取得に挑戦することも始めました。会社も応援してくれているのを感じていますし、役に立つ人材になりたいという思いで仕事しています。

